



「**非雪国**」を襲った雪害の記録



関東甲信**大雪**災害展

新潟大学中央図書館 2014年
1階インフォメーションラウンジ 10月18日(土)ー26(日)

関東甲信大雪災害展

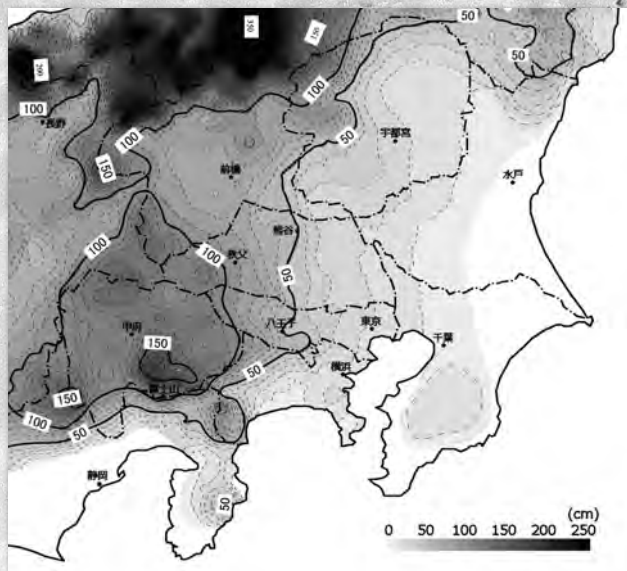
—「非雪国」を襲った雪害の記録—

2014年

10月18日(土)～26(日) 新潟大学中央図書館1階インフォメーションラウンジ

関東甲信地方は今年2月中旬に2度の大雪に見舞われました。とくに2月14～15日の大雪では関東甲信各地で集落孤立、雪崩、交通障害、建築物・農業施設への被害、除雪作業中の事故などが多発して、死者26人、重軽傷者781人を出すなど、多方面に大きな影響を及ぼしました。

本災害展では、災害・復興科学研究所が中心となって結成された大雪災害調査研究グループによる調査の概要と災害写真を展示し、雪国新潟とは異なる「非雪国」での雪害の実態を紹介いたします。



関東甲信地方における
2014年2月15日の積雪深分布

(新潟大学災害・復興科学研究所 伊豫部 勉 作成)



長野県富士見町の駅前で
雪に埋もれた自動車



東京都青梅市の都道脇
で発生した雪崩



埼玉県秩父市の木工所
に生じた被害



新潟県から出動した
ロータリー除雪車の活躍



群馬県藤岡市で生じた
農業用ハウスの被害



栃木県小山市で発生した
イチゴ用ハウスの被害



栃木県鹿沼市で冠雪に
よって折れたスギの木



宮城県仙台市関山峠の
国道で発生した雪崩

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

主催：新潟大学災害・復興科学研究所 科学研究費補助金(特別研究促進費)大雪災害調査研究グループ